

れいはいはさいこうのしゅくぶ

まいにち
れいはい

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

パウロが あらかじめ みた こと



いのり

しかいしゃ

しとしんじょう

みんなで

さんび

しんさんびか 478 ばん (きゆう 78) 「このよはみな」、わたしたちはよのひかり (2020 ねんこどもさんび)

せいしよ

使徒9:15

使徒9:15 しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

みことば

パウロが あらかじめ みた こと

しかいしゃ

正確な福音を悟る前のパウロは、福音を伝える人々を迫害することの先頭に立った存在でした。パウロが迫害した人々には、初代教会の信徒もたくさんいました。パウロはステパノ執事が福音を伝えて、石に打たれて死ぬ姿を見て、ステパノのような人間は殺されて当然だと思っていた人でした。

しかし、そのようなパウロはイエスの弟子たちを捕まえるためにダマスコに行く道で臨んだ光によって、イエス様に会いました。そのときから、「異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に福音を運ぶ、わたしの選びの器」だというみことばを心に留め、教会を建てることと、弟子を見つけることに集中しました。神様があらかじめ計画されたとおり、パウロはさまざまな国の王たちに出会い、彼らの前に立ち、ローマ福音化のために用いられました。

私も神様が世界福音化のために選ばれたパウロのようなレムナントであるという事実を感謝して、信仰の告白をささげましょう。

いのり

いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

かみさま、ありがとうございます！ かみさまの みことばが なされる ところに わたしも
ともに いたいです。そのけいやくの たいれつに たって もちいられますように。いきておられる
イエス・キリストの みなによって おいのりします。アーメン

しゅのいのり

いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう

フォーラム
う

きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょ



まいにち
チェックしよう

げつよう

かよう

すいよう

もくよう

きんよう

どうよう



133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。



あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

しかし、しゅは こう いわれた。

「いきなさい。あのひとは

わたしの なを、いほうじん、

おうたち、イスラエルの しそんの

まえに はこぶ、わたしの

えらびの うつわです。

しと9しょう 15せつの みことば

きりはりしよう

ちよき ちよき

きって はりましょう

かみさまが せかいふくいんかの ために わたしたちに くださった
しゆくふくが あります。 したの えの あいている ところに
つぎの ページから あう じを さがして きって はりましょう。

23

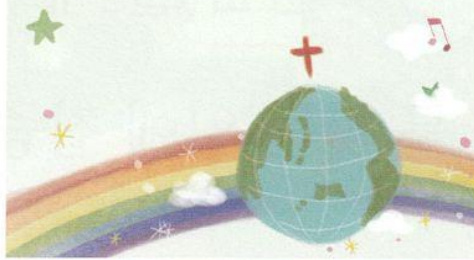
かようび

じゅんぴする もの： はさみ のり つぎのページ

かみの こども



せかい ふくいんか



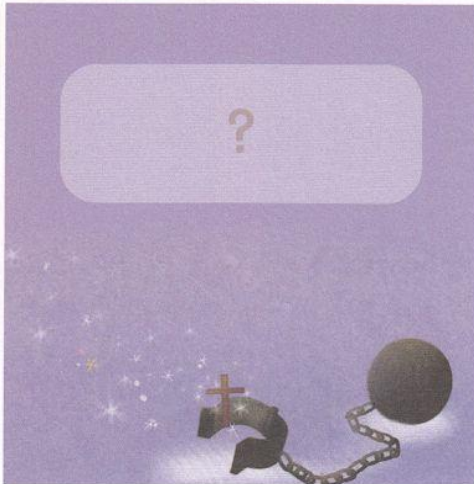
?



?



?



みつかいの たすけ

?



サタンを しばる

せいいい みちびき

いのりの こたえ

てんごく こくせき



きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで あいている ところに はいる
たんごを みつけて かきましょう。

そのときから、 を

たてることと、 を みつけることに

しゅうちゅうしました。

かみさまが された

とおり、パウロは さまざまな の

に であい、

かれらの まえに たち、

の ために

もちいられました。

おうたち、 でし、 きょうかい、 ローマふくいんか、
あらかじめ、 くに、 けいかく



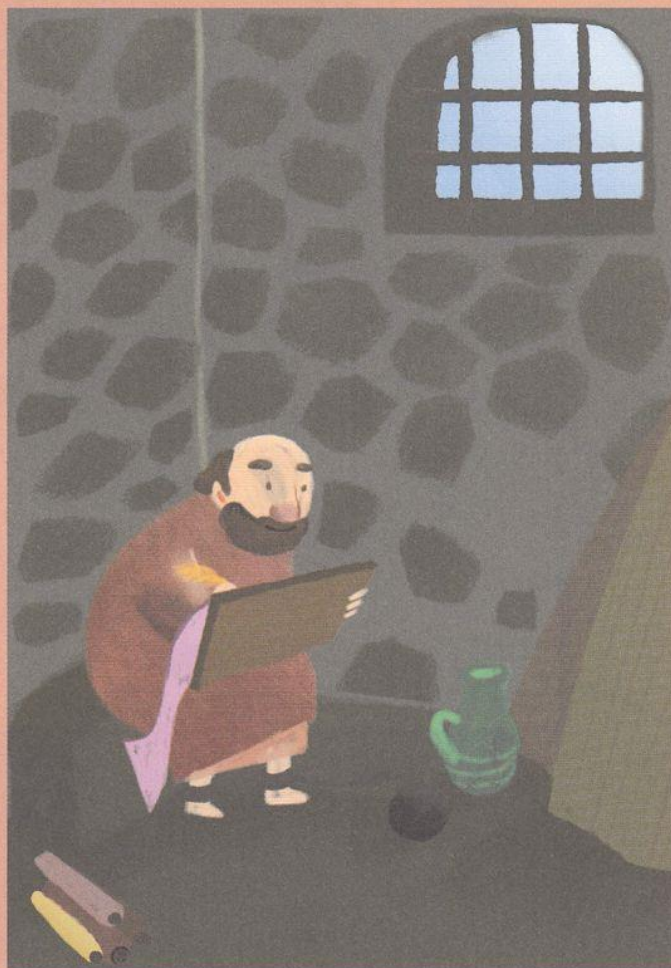
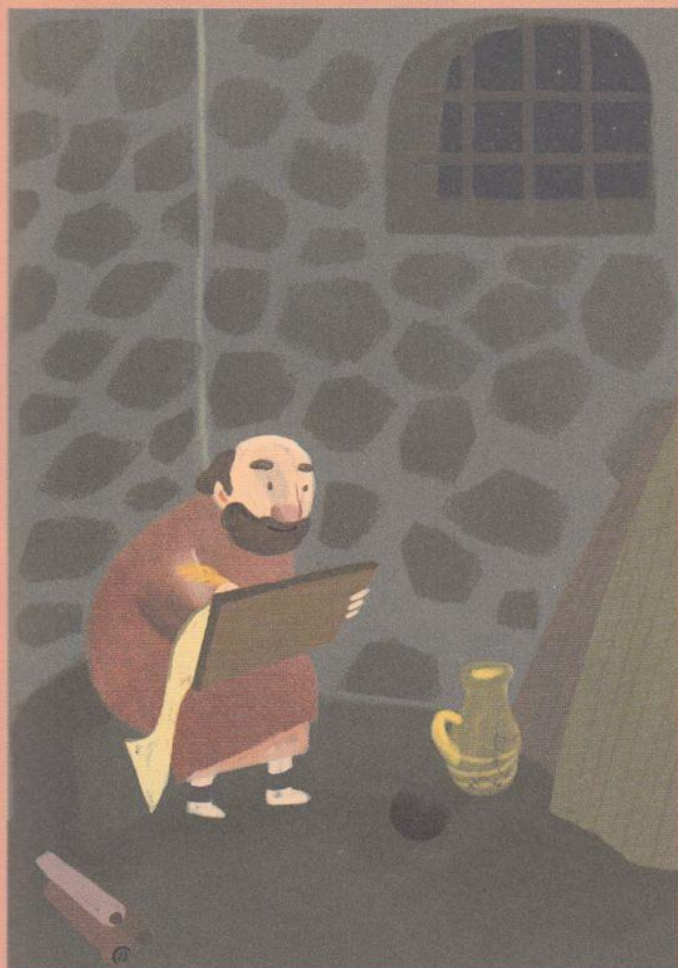
どこ？

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

25

もくようび

パウロは かみさまが せかいふくいんかの ために じぶんを ローマに
おられる ことを かくししました。 それゆえ どんな はくがいにも
ふくいんを つたえる ことを やめませんでした。 ふくいんを つたえて
ろうやに はいった パウロと かれの ために いのっている
しょだいぎょうかいの しんとの えが あります。 2つの えを くらべて
ちがうところを 5つ みつけましょう。



ひょうげんしょう

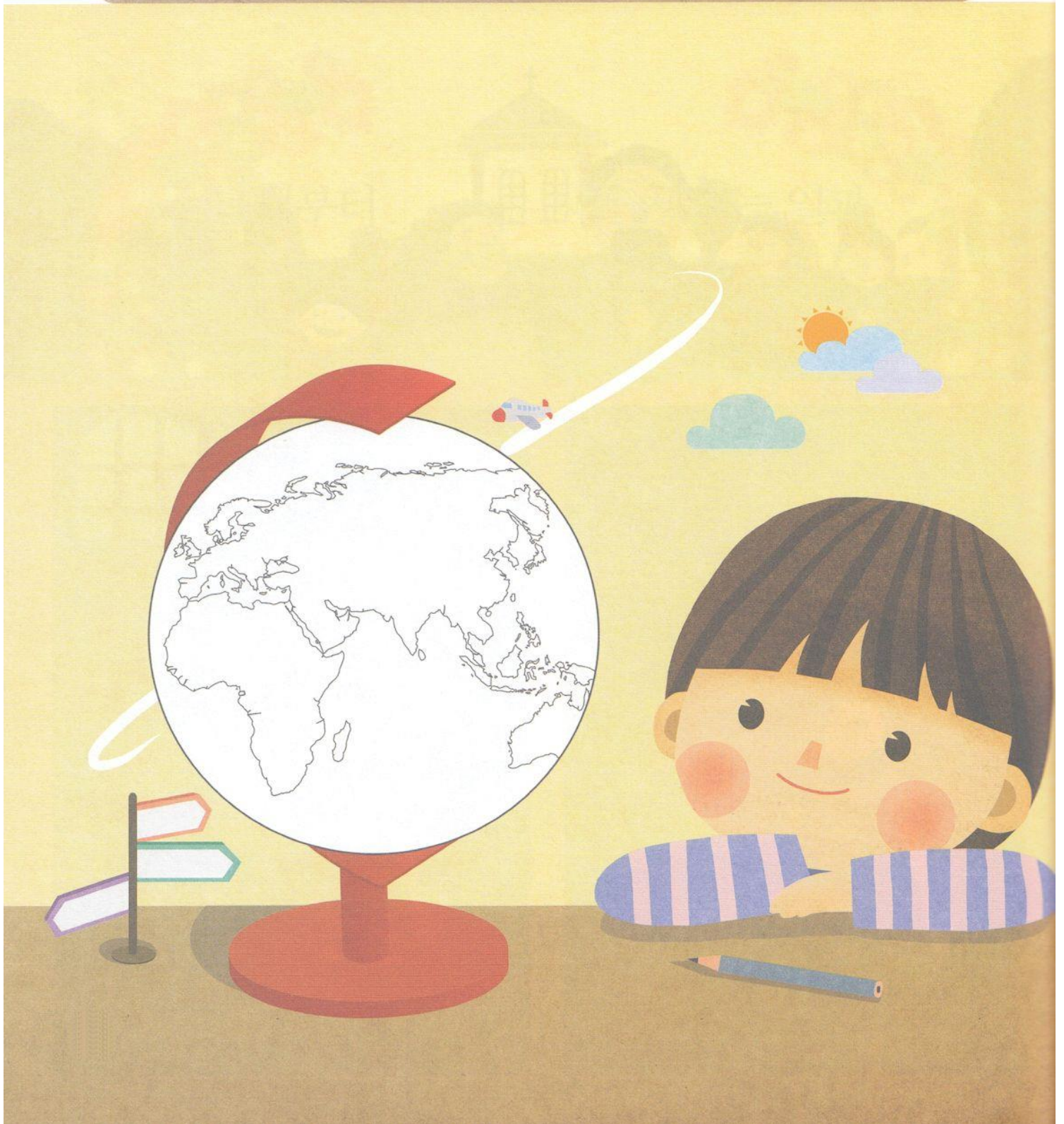
☆ ひそひそ ☆

パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

26

きんようび

わたしたちの きょうかいで でんどうと せんきょうの ために
いのって じゅんびを しているでしょう。わたしと わたしの
かぞくは なにを たすけることが できるでしょうか。 かぞくと
いっしょに はなしを して えか じで ひょうげんしましょう。



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
 こころに きざみましよう

パウロのように わたしも かみさまに えらばれた かみさまの
 えらびの うつわです。 つぎのページからの せいしょどうわを
 パパとママと いっしょに よんで でんどうしゃ パウロに
 いったい あげたい ことを はなしましよう。
 また わたしに いったい している ことは なにかを かんがえましよう。

27

どうび

じゅんびするもの | つぎのページからの パウロのおはなし

せいしょどうわを よんで しゅじんこうに こえを かけよう!

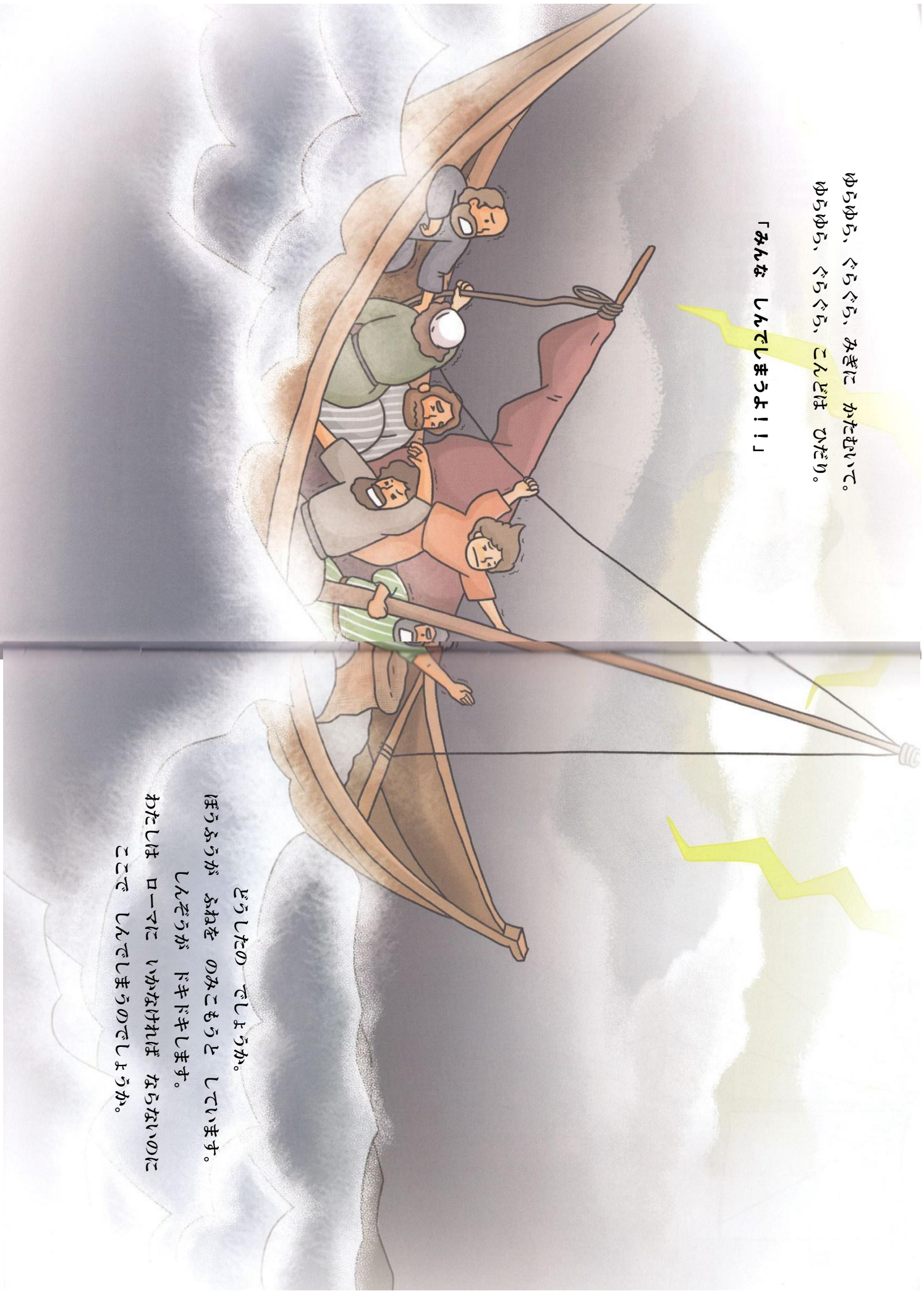


1. せいしょどうわを よみます
2. しゅじんこうに いいたい ことばを かんがえましよう
3. ふさわしい ときに しゅじんこうに こえを かけましよう
4. しゅじんこうは わたしと パパとママに なにを いったい くれますか
5. かみさまに かんしゃの いのりを して おわりましよう。

ゆらゆら、ぐらぐら、みぎに かたむいて。
ゆらゆら、ぐらぐら、こんどは ひだり。

「みんな しんでしまおうよ!!!」

どうしたの でしょうか。
ほうふうが ふねを のみこもうと しています。
しんぞうが ドキドキします。
わたしは ロープに いかなければ ならないのに
ここで しんでしまおうのでしょうか。





じつは わたしは ひどい ぼうふうが くるのを していました。
せいれいの かみさまが しらせて くださったのです。

「ぼうふうが きそうだから

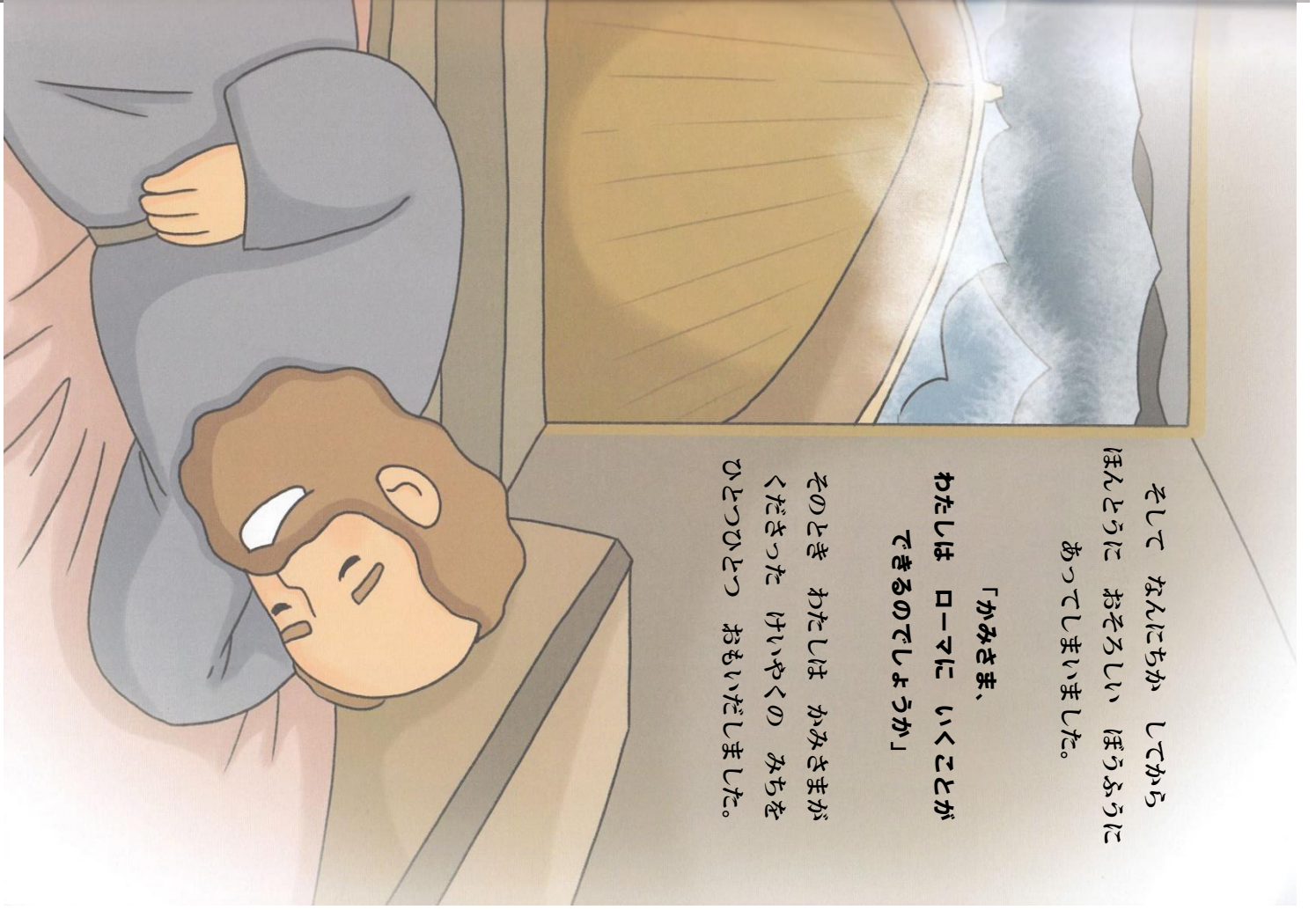
すこし やすんで いったら どうでしょうか」

「たいようが こんなに サンサンと っているのに… いごう！」

わたしは ひどびとに せいれいの かみさまが いわれた ことを
しらせたのですが、 きいてもえませんでした。

ひどびとは けんどうしゃの ことばより

せんちょうの ことばを しんじたのです。



そして なんにちか してから
ほんどうに おそろしい ぼうふうに
あつてしまいました。

「かみさま、

わたしは ローヌに いくことが
できるのでしょうか」

そのとき わたしは かみさまが
くださった けいやくの みちを
ひとつひとつ おもいました。

あるひ きゆうに めが みえなく なりました。
ひとびとに そんけいされる パリサイびとで
つよいくに ローマの しみんけんを もっていたのですが
めが みえなく なった ことは
どうすることも できませんでした。

わたしは しぬんだなど おもった そのとき
こえが きこえました

「わたしは あなたが はくがいている イエスだ」

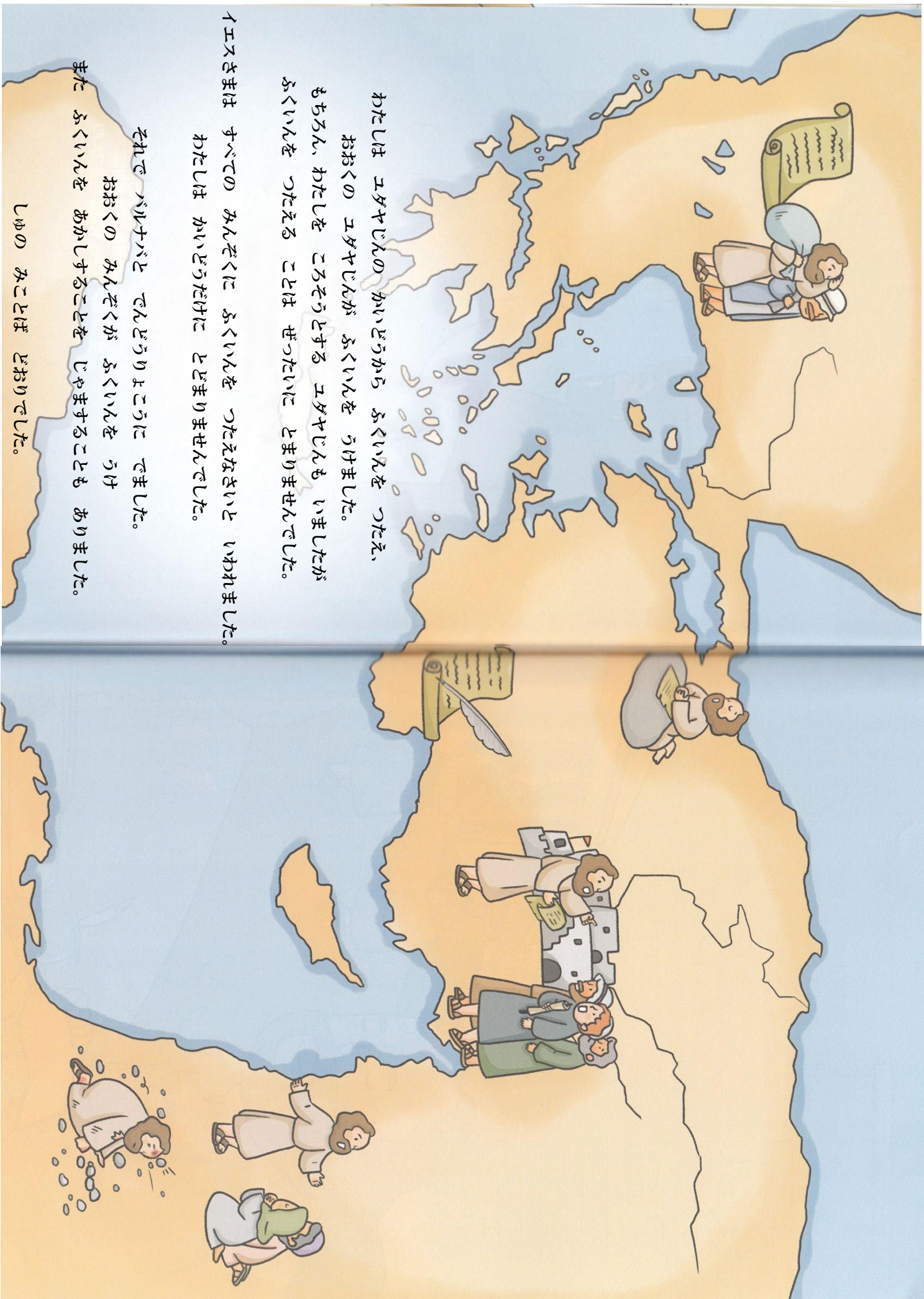
すくいぬし、イエス・キリストに あったのです。

めは みえなかったのですが

わたしの たましいは あかるい ひかりを かんじました。

なんにちかしてから アナニヤという ひどが
わたしを たずねて ききました。
かれは かみさまの みことばを
わたしに つたえてくれました。

「あなたは わたしたちの みんなと ほかの みんなと
おうたちに ふくいんを つたえる でした。
また、この ふくいんの ゆえに はくがい を うけるでしょう」



わたしは エダヤジンの かいどうから ふくいんをつたえ、
おおくの エダヤジんが ふくいんを うけました。
もちろん、わたしを ころそうとする エダヤジんも いましたが
ふくいんをつたえる ことは ぜったいに とまりませんでした。

イエスさまは すべての みんなに ふくいんをつたえなさいと いわれました。
わたしは かいどうだけに とどまりませんでした。

それで パルナバと でんどうりよこうに できました。
おおくの みんなが ふくいんを うけ
また ふくいんをあかすことを じやますることも ありました。

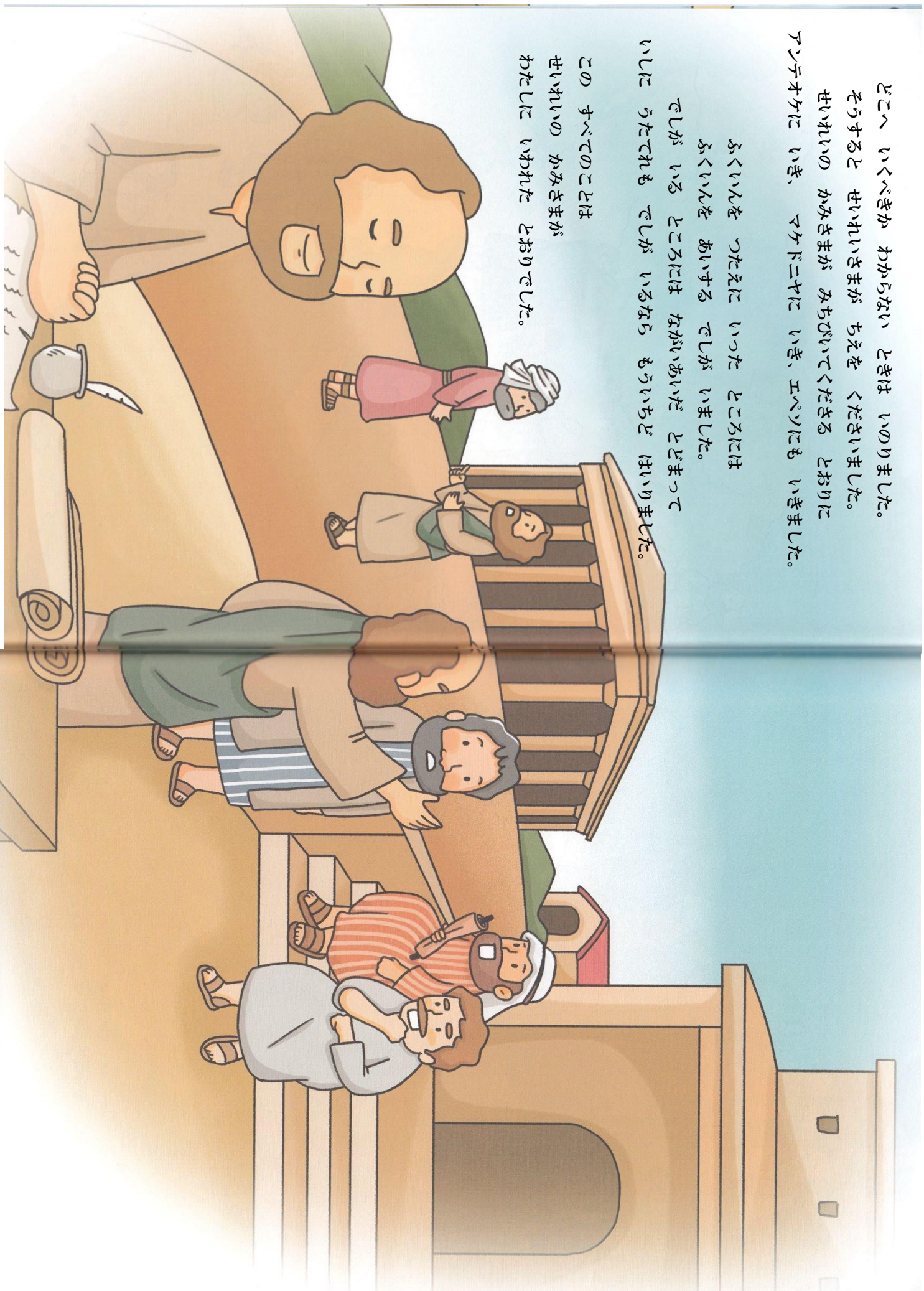
しゆの みことば とおりでした。

どこへ いくべきか わからない ときは いのりしました。
そうすると せいれいさまが ちえを くださいました。
せいれいの かみさまが みちびいてくださる とおりに
アンテオケに いき、 マケドニアに いき、 エペソにも いきました。

ふくいんをつたえに いった ところには
ふくいんを あいする でした。

ですが いる ところには ながいあいだ とどまって
いしに うたでも ですが いるなら もういちど はいりました。

この すべてのことは
せいれいの かみさまが
わたしに いわれた とおりでした。



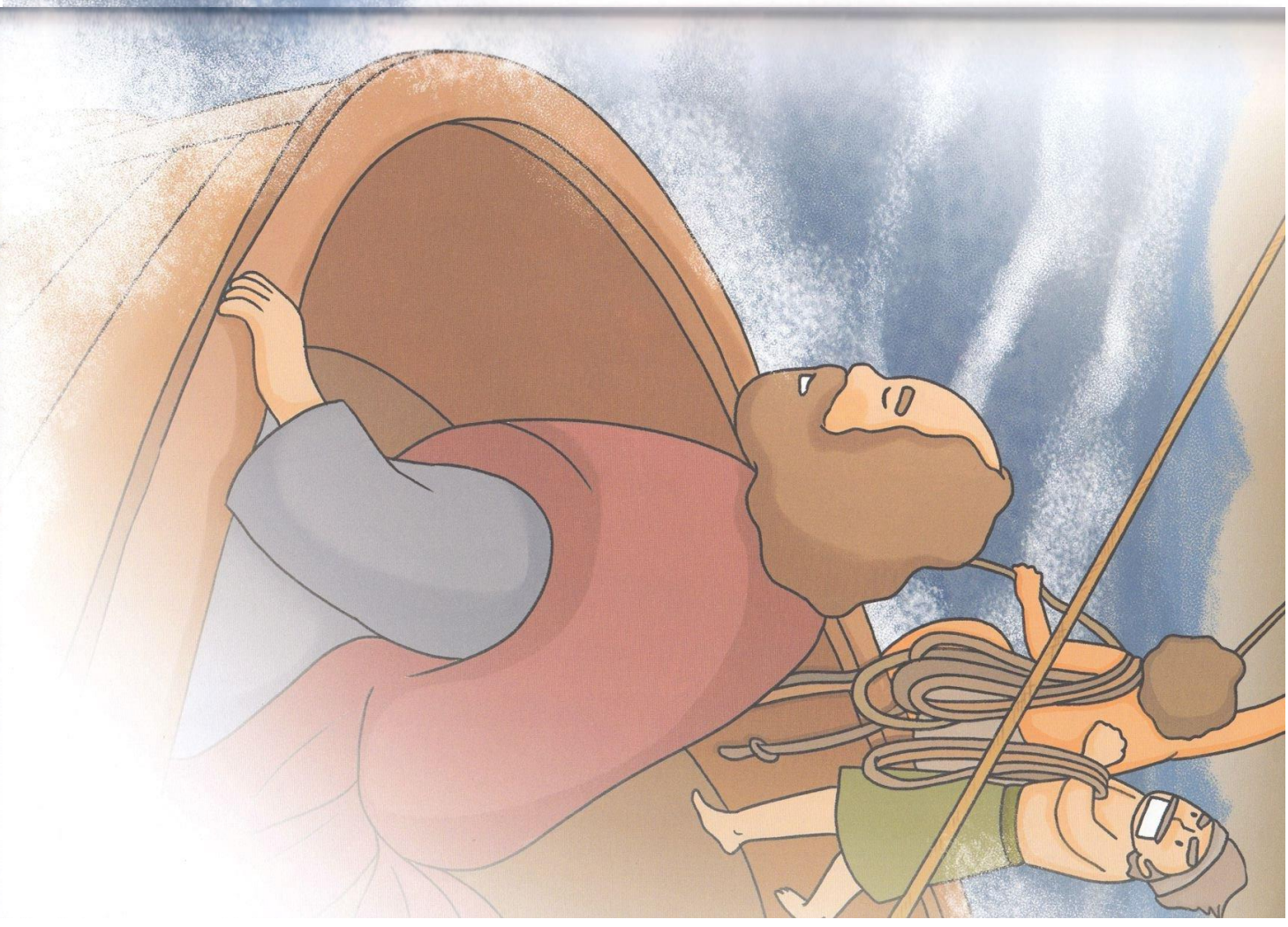


おおくの くにおさめる つよい おおきい くにが あります。
さまざまな とうぞうに つかえて その ぶんかを
いろいろな くくに ひろげています。
それが ローマです。

「わたしは ローマも みなければ ならない」

ローマで ふくいんをつたれば
おおくの くにと ひとびとに えいぎょうを あたえます。

けいやくの みちを おもいだすと
ほうふうは ふきあれて いましたが
わたしの こころは しずかになりました。



わたしは ひとびとの まえに たって いました

「みなさん、 おそれないで ください！」

さくや わたしの つかえている かみの みつかが わたしに

『おそれては いけません

あなたは カイザルの まえに たちます』と いました。

わたしは この みことばどおりに なることを しんじます」

なんにちか して わたしたちは しまに つきました。

かみさまが わたしに くださった けいやくの ゆえに

わたしを たすけてくださったのです。

そして わたしと ともにいた ひとびとも いかして くださいました。

わたしは ローマに 逃げました。

みことばで かたられた そのとおりに。

